

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市藤岡高齢者生きがいセンター
	所在地	栃木市藤岡町大前3554番地1
	施設内容	高齢者の希望と能力に応じた社会活動を行う場所を提供し、もって高齢者の心身の健康と生きがいの増進を図る。
指定管理者	名称	公益社団法人栃木市シルバー人材センター
	所在地	栃木市日ノ出町14番36号
	主な業務内容	高齢者就業相談等

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	利用者意見数	3	2
	利用者意見反映数	2	2
	利用案内揭示数	2	2
	利用者満足率	80%	90%
	業務改善数	1	1

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	<p>①シルバー人材利用対象者（会員）の相互理解と連携を図り、常に情報提供や啓発を行い、職員は適切に対応している。</p> <p>②利用者の誰もが利用しやすいように、施設の利便性、平等性を常に心がけている。</p> <p>③事務所に要望・意見書箱を置いて、利用者の意見・要望を聞いている。</p> <p>④日々職員と利用者の意見交換を行い、利用者の意見や苦情等を共有し業務の改善を図っている。（今年度は休憩時に利用できるよう、ウォーターサーバーを設置した。）</p>
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施設所管課コメント	・シルバー人材センターの南部事業所として適切に管理されていると理解する。
-----------	--------------------------------------

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		17,500		16,203		
	地域との協働事業数		1事業		2事業		
	協働等事業参加者数		30人		51人		
	広報紙発行数		2回		2回		
	新規事業数		0回		0回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①事業計画通りに行っているので支障はないと思われる。</p> <p>②高齢者の生きがい充実のため、市広報紙に毎月利用者募集を掲載し、事業所前にはのぼり旗を掲げ利用者の増加を図った。また、利用希望者へは毎月募集説明会を行い利用者増加を呼び掛けた。</p> <p>③利用者の増加のため事業種類の多様化を図るほか、個々の技術にあった就業相談を実施した。</p> <p>④南部事業所として、渡良瀬遊水地清掃や産業祭に参加し地域連携を積極的に図るほか、利用者相互等の各種事業を行い親睦（旅行等）を図った。</p>						
施設所管課コメント	<p>・シルバー人材センターの南部事業所として適切に管理されていると理解する。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額						
	経費削減率						
	備品等更新数		0	0			
	見積合せ実施数		0	0			
	施設修繕数		0	1			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①適切に行っている（栃木市シルバー人材センター全体の収支に一括計上されているため、南部（藤岡地区）事業所のみの経費削減額及び経費削減率は計上することができない。）</p> <p>②利用者の理解と協力を得ながら光熱費や燃料費の経費節減に努めた。</p> <p>③経費節減と安全確保のうえで委託をしている。</p> <p>④屋内外管理については、経験豊富なシルバー人材センター会員が、そのノウハウを活かした管理を行い、事務の効率化を図った。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの南部事業所として適切に管理されていると理解する。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			4人	4人	
	研修会開催数			1回	1回	
	研修会参加者数			1人	1人	
	勤務時間数(1人当たり)			38時間/週	38時間/週	
	経常収支比率			100%	99.9%	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>①当該人材センターの組織体制として、南部事業所(藤岡・岩舟)職員原則3名(職員3名及び補助員1名)の目標を達成している。</p> <p>②本年度は健康づくり教室や市主催の研修会(交渉力研修)に参加し、健康関連の知識向上を図り、日常業務の打合せの中でも指導育成が十分確保されている。</p> <p>③人間ドック、予防接種の補助等。</p> <p>④税金、社会保険料は適切に納めている。</p> <p>⑤財政状況は特に問題ない状況である。</p>					
施設所管課コメント	・シルバー人材センターの南部事業所として適切に管理されていると理解する。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回		12回		
	事故発生件数		0回		0回		
	安全講習会等参加者数		1人		0人		
	訓練実施回数		0回		0回		
	訓練参加者数		0回		0回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①日常の定期点検を毎月行っている。 ②職員間の緊急連絡網を作成し、警備会社、所管課との速やかな連絡ができるようになっている。 ③避難訓練等は実施していないが、利用者には適宜話しをしている。 ④個人情報の保護に関する規程を設け、適正な管理を行っている。</p>						
施設所管課コメント	<p>・シルバー人材センターの南部事業所として適切に管理されていると理解する。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16
評価点合計	100	84	80
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	28年3月期	29年3月期	30年3月期
資産総額	171,499,319	173,494,513	166,072,046
売上高	492,828,852	515,416,451	510,640,702
経常利益	△ 1,148,364	△ 892,950	△ 3,438,641
当期利益	△ 789,072	△ 892,953	△ 2,315,486
経常収支比率	99.9%	99.8%	99.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	28年3月期	29年3月期	30年3月期
経常費用	538,483,216	561,358,401	558,588,343
経常収益	537,334,852	560,465,451	555,149,702
経常収支比率	99.79%	99.84%	99.38%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

H25年に公益法人の認定を受け、収支については±0の指針が出された。H25年に700万の収益があり、その分について2年以内に消化しなければならなかったが、H27年でも消化できず、H28年、H29年と収支を赤字とした。又、赤字分についてはH25年に収益となった資産で対処し、H30年度は黒字の予定。